第１４回 大学自転車競技フォーラム　2024 東京

「自転車競技を通した共生社会」

― 2025東京デフリンピックに向けて ―

　デフリンピックとは、聴覚障碍者のための世界最高峰のスポーツ大会です。２０２５年には、東京で開催される予定です。私たちの連盟は、パラサイクリングの分野で国際的な活動を行ってきましたが、デフサイクリングに関してはまだ知らないことが多くあります。デフサイクリングとは、補聴器などを外して音のない状態で自転車に乗る競技です。この競技には、目で見てわかる工夫や特別なルールがあります。デフサイクリングの魅力や課題を知ることで、共生社会に向けて一緒に考えていきたいと思います。

期日　　２０２３年3月9日（土）１５：００より
場所　　ハイブリッド開催　現地＋WEB 会議（ZOOM 利用）
現地会場：国立オリンピック記念青少年総合センター　国際交流棟２階　第二ミーティングホール
（〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町３－１）

14:30　会場受付開始
14:45　zoom open
　　司会　　古田雅拓　　日本学生自転車競技連盟広報委員
　　手話通訳　　株式会社ミライロより派遣
15:00　開会挨拶　　武田彰　　日本学生自転車競技連盟専務理事
15:05　講 演

１「パラサイクリングの立場から」

一般社団法人日本パラサイクリング連盟HPD（ハイパフォーマンスディレクター）　**権丈泰巳**

質疑応答

２ 「デフサイクリングの立場から」

2013・2017・2021デフリンピック三大会連続メダル獲得

早瀬久美（一般社団法人日本ろう自転車競技協会）

通訳者休憩

３ 「大学生選手として想うこと」

2023年度全日本学生ロードレースカップシリーズ総合リーダー　**小泉響貴（明治大学）**

― 休憩
16:45　質疑応答・意見交換
16:55　閉会挨拶　　古賀岳文　　日本学生自転車競技連盟理事長
17:00　閉会

参加資格　　当フォーラムの主旨に賛同される方、関心をお持ちの方、
当連盟登録者でなくても参加できます。　　聴講無料
下記まで３月８ 日（金）12 時迄にお申し込みください。
申込者宛にフォーラム当日 12 時までに会議アドレスをお送りします。
https://forms.gle/jTiUMrfPZmprPyyF9
（フォーラム中に不適切な発言・行為のある方は、主催者判断により途中退室頂くことがあります）

フォーラム終了後会場内カフェテリア『ふじ』にて懇親会を予定しております。

主催：日本学生自転車競技連盟
郵便番号160-0013　東京都新宿区霞ヶ丘町４番２号　ジャパンスポーツオリンピックスクエア４０８
Website：https://jicf.info　E-mail：jicf@remus.dti.ne.jp
V20240306

●進行

古田　雅拓

　日本学生自転車競技連盟　広報委員会委員　安全・医事委員会委員

　日本自転車競技連盟　e-sports 部会部会員

【略歴】

2021年、東京都立大学理学療法学科を卒業。その後、つくばで理学療法士として働きながら、学生連盟で審判などの執務にも携わる。2023年には国際自転車競技連合（UCI）のナショナルクラシファイアコースを修了し、クラシファイアとしても活動を開始。現在は東京都立大学大学院でパラスポーツの研究も行っている。

●演者

権丈泰巳

一般社団法人日本パラサイクリング連盟HPD（ハイパフォーマンスディレクター）

【略歴】

1972年、福岡県福岡市で生まれる。中学1年生の時にテレビで観たツールドフランスに憧れ、自転車を始める。1991年、日本大学に入学。自転車競技部ではキャプテンを務める。大学時代にタンデムのパイロットとしてボランティアを行い、その経験がパラサイクリングとの出会いとなる。2012年、日本障害者自転車協会の法人化に伴い社名変更となった日本パラサイクリング連盟の理事長に就任。2004年のアテネパラリンピックから2020年の東京パラリンピックまでコーチや監督を務める。現在は、日本パラサイクリング連盟のハイパフォーマンスディレクターを務めている。2019年5月には、連盟事務局と共にいわき市に移住した。

早瀬久美

一般社団法人日本ろう自転車競技協会

【略歴】

大分県生まれ。1998年に明治薬科大学薬学部を卒業後、薬剤師国家試験に合格。2001年7月に欠格条項法改正に伴い、薬剤師免許を取得。現在は昭和大学病院薬剤部に勤務している。2009年に、夫が運営する聴覚障害者向けの学習塾の生徒たちがデフリンピックに出場したことに触発され、夫と共にデフリンピックへの出場を決意。2013年の夏季デフリンピックに出場し、マウンテンバイク女子で銅メダルを獲得。2017年の大会では日本選手団の主将を務め、2大会連続の銅メダルを獲得。2022年に開催されたブラジル大会では、銀メダルを獲得した。

小泉響貴

明治大学政治経済学部２年

【略歴】

2019年に浦和北高校に入学。2020年の全国高等学校選抜自転車競技大会男子ロードレースで5位入賞を果たす。2022年に明治大学政治経済学部に入学。同年、全日本学生ロードレースカップシリーズ（RCS）第一戦の菜の花飯山ラウンドで優勝し、クラス1に昇格。2023年にはRCSで複数の優勝を重ね、現在は総合リーダーであり、2位と24点差の212点を獲得している。